

「銃砲史研究」目録 (351号～358号)

No.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
	351	H18. 2		銃砲史研究の寄稿要領	01～02	
809	351	H18. 2	寺西 英之	装箍砲管身に関する一考察	03～12	
810	351	H18. 2	山田 太郎	日本海軍光工廠	13～24	
811	351	H18. 2	斎藤 利生	出土した第三の横浜砲	25～30	
812	351	H18. 2	峯田 元治	真田宝物館所蔵銃の調査報告と今後	31～31	
813	351	H18. 2	磯村 照明	松代・真田宝物館所蔵の洋式銃調査 (1)	32～40	
814	351	H18. 2	池田 浩理	口径 11mm13 年式村田銃および 同実包	41～51	
815	351	H18. 2	中原 正二	中国遺棄化学兵器(第2報) 化学兵器 禁止条約と旧日本軍の化学剤・化学 兵器	52～61	
816	351	H18. 2	青木 孝	新釈図解「十二段装填」	62～74	
817	351	H18. 2	北村 陽子	ペリー来航と江戸の鉄砲師 — 江 川垣庵のゲベール銃事業の中で —	75～94	
818	352	H18. 3	安田 修 磯村 照明 峯田 元治	村田銃 13 年式・18 年式・22 年式の 弾薬筒および弾薬運搬箱	03～44	
819	352	H18. 3	峯田 元治	所先生旧蔵、銃身は南蛮筒か (第1報)	45～52	
820	352	H18. 3	山田 太郎	日本海軍豊川工廠	53～66	
821	352	H18. 3	今津 浩一	NHK 教育テレビへの協力	67～69	
822	352	H18. 3	富原 道晴	資料紹介 幕府鉄砲方与力井上貫流 文化9年武州西台徳丸原砲術記録	70～75	
823	352	H18. 3	湯浅 大司 林 利一	長篠・設楽原鉄砲隊の火縄銃のカラク リについて	76～82	
824	353	H18. 6	小西 雅徳	長浜市指定文化財 国友寛家鉄砲鍛 冶資料について	03～23	
825	353	H18. 6	峯田 元治 岡崎 清	国友九重郎家のモミシノ	24～32	
826	353	H18. 6	磯村 照明	松代・真田宝物館所蔵の洋式銃調査 (2)	33～44	
827	353	H18. 6	山田 太郎	日本海軍鈴鹿工廠年表 日本海軍多賀城工廠年表	45～49 50～59	
828	353	H18. 6	安田 修 峯田 元治	ポート砲の弾丸運搬箱について	60～72	
829	353	H18. 6	北村 陽子	付、久世広周とポート・ホーイッスル の年表	73～76	
830	353	H18. 6	北村 陽子	ポート砲始末(前編)	77～106	

No.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
	354	H18. 10		銃砲史学会会則	03~04	
831	354	H18. 10	安田 修	尾張藩の田付流鉄砲流派について	05~19	
832	354	H18. 10	山田 太郎	日本海軍相模工廠年表 日本海軍沼津工廠年表	20~21 22~24	
833	354	H18. 10	高橋 信武	西南戦争の多稜保塁	25~37	
834	354	H18. 10	中原 正二	ロケット弾、ロケット推進薬	37~46	
835	354	H18. 10	佐藤 進	日本の鉄砲—技術史の視点からどう見えるか	47~54	
836	354	H18. 10	霜 礼次郎	伝来火縄銃のルーツをたずねて 西ポヘミアン博物館にみる火縄銃の 発達史について	55~59	
837	354	H18. 10	小林 芳春	設楽原の鉛玉とその周辺	60~73	
838	354	H18. 10	北村 陽子	ポルト砲始末 後編 (副題) 施条砲 の日本伝来	74~98	
839	354	H18. 10	関 周一	鉄砲伝来をめぐる近年の歴史学研究	14~01	
840	355	H18. 12	中原 正二	「所荘吉前理事長7回忌追悼号」の 発刊に当って	3	第355号 所 荘吉 前理事長 7回忌追 悼号
841	355	H18. 12	磯村 照明	所先生の思い出	4	
842	355	H18. 12	宇田川 武久	所荘吉先生への恩返し	5	
843	355	H18. 12	霜 礼次郎	所荘吉先生を偲んで	6	
844	355	H18. 12	安田 修	所荘吉先生の7回忌法要に参列して	7	
845	355	H18. 12	山田 太郎	所 荘吉先生を偲ぶ	8	
846	355	H18. 12	宇田川 武久	幕末の森重流砲術 —「牧田亭次郎 森重流砲術秘伝書」の紹介をかねて—	09~21	献呈論文
847	355	H18. 12	所 荘吉	再考葡人の初来日と鉄砲伝来草稿	14~01	所前理事 長遺稿集
848	355	H18. 12	所 荘吉	火縄銃身の鍛接について —疑問の解明—	21~15	
849	355	H18. 12	所 荘吉	二系統の高島流砲術書について	58~22	
850	356	H19. 3	岡崎 清	10月例会の報告 第二回地方例会 滋賀県長浜(国友)	03~04	
851	356	H19. 3	廣瀬 一實	「一貫斎の極意について」能当流に 学ぶ	05~15	
852	356	H19. 3	磯村 照明	松代・真田宝物館所蔵の洋式銃調査 (3)	16~25	
853	356	H19. 3	林 利一	鉄砲演武について	26~33	
854	356	H19. 3	斎藤 努 高塚 秀治 宇田川 武久	鉄砲の威力実験	34~54	
855	356	H19. 3	峯田 元治	煩銅製鑄造砲 24ポンド、ダール グレン ポートホーウィツァー砲 とシュラブネル弾	55~62	

No.	号数	年月	著者	題目	ページ	備考
856	356	H19. 3	中原 正二	板橋旧陸軍火薬製造所などの遺蹟の見学記 付記 野口遵(したがう)氏の生涯	63~75	
857	357	H19. 8	中原 正二	板橋シンポジウム特集について	3	板橋シンポジウム特集
858	357	H19. 8	富原 道晴	砲術師幕臣井上貫流の事績	04~21	
859	357	H19. 8	樋口 雄彦	沼津兵学校に流れ込んだ砲術家の系譜	22~33	
860	357	H19. 8	磯村 照明	銃弾から見た日本の銃砲変遷	34~43	
861	357	H19. 8	鈴木 利昌	田原藩村上範致の西洋流砲術	44~55	
862	357	H19. 8	青木 孝	洋式調練の進化と徳丸原調練の装填挙動	56~64	
863	357	H19. 8	島津 兼治	川越重昌先生と森重流砲術	65~66	川越 重昌先生 一周忌 追悼特集
864	357	H19. 8	中原 正二	『鎖国時代の硝石考 —その結晶率について—』	67	
865	357	H19. 8	峯田 元治	川越先生との思いでのかずかず	68~69	
866	357	H19. 8	安田 修	川越重昌先生の功績	70~71	
867	357	H19. 8	山田 太郎	川越重昌先生を偲んで	72	
	357	H19. 8		第5回日本銃砲史学会総会の報告	73~77	
868	358	H19. 12	小林 芳春	「長篠・設楽原の戦い」での鉄砲使用を江戸期文献はどう記しているか？	03~12	
869	358	H19. 12	安田 修 峯田 元治 岡崎 清	熱田神宮の鉄製砲	13~18	
870	358	H19. 12	安田 修 峯田 元治 岡崎 清	熱田神宮の鉄製砲(追補)と分析	19~23	
871	358	H19. 12	今津 浩一	文献紹介 スペンサー・C・カッター 著ダールグレンのポルト砲	24~34	
872	358	H19. 12	中原 正二	資料紹介 黒色火薬代替品 —吸湿性と安全性を向上させた	35~40	
873	358	H19. 12	安田 修	野々山 修先生を偲んで	41~42	
874	358	H19. 12	峯田 元治 中原 正二	資料紹介 大正十二年銃砲火薬類販売営業願	16~1	